

中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】UR-30

申請日	2022/6/6	承認日	委員長	印
レジメン登録	2022/6/13	仮承認日	承認者	印

Pembrolizumab + Lenvatinib	病名	腎細胞癌	泌尿器科	医師名	Dr
対象	根治切除不能または転移性の腎細胞癌の一次治療				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m ² 等)	投与方法 (div.iv.po等)	投与スケジュール(日)																			
			1	5	8	10	15	20	25	30												
レンビマ(レンバチニブ)	※4~20mg/Day	po	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
キイトルーダ(ペムブロリズマブ)	200mg/Body	div	○																			
投与間隔・休薬期間等: 21日=1コース																						

【投与処方例(前投薬など)】インラインフィルターを使用する

レンビマ投与中は、タンパク尿・血圧測定を実施。

手足症候群予防のために、開始時より保湿剤(尿素配合クリーム)の処方を行う。

※小手術は2日後、大手術では7日後に十分回復し出血リスクがなければ再開可能。

※小手術では2日前、大手術では7日間以上前までに中止。

術後補助化学療法は認められていない。

- ① メインキープ【緑】生理食塩液250mL /div
- ② メイン【赤】生理食塩液100mL+キイトルーダ /div 30分
(最終濃度が1~10mg/mlとなるよう希釈)

*減量は認められていない

※レンビマは1日1回 1回20mgを内服。なお患者さんの状態により適宜減量する。

減量段階基準	1日投与量
通常投与量	20mg

1段階減量	14mg
2段階減量	10mg
3段階減量	8mg
4段階減量	4mg

参考文献: KEYNOTE-581試験

R.Motzer et al. N Engl J Med 384; 14, 1289-1300, 8, 2021